KEROSENE ONLY

ガソリン厳禁

寝るとき消火
スプレー缶厳禁

注意
変質した持ち越し灯油
使用厳禁

DAINICHI

ブルーヒーター

FB-4360LD
FB-5360LD

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

- お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
- 取扱説明書はご使用になる人がいつでも取り出せる場所に、保証書と共に大切に保管してください。
- 同梱の「ご愛用者アンケートはがき」は必ずご投函ください。

［強制通気形開放式石油ストーブ］

目　次

ご使用前

使用方法

点検・その他

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書にある項目は、危険の程度によって次の3段階に区分しています。

⚠ 危険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う危険、また火災・やけどの危険が高いと考えられる場合
⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性、また火災・やけどの可能性が考えられる場合
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が考えられる場合、また物的損害のみの発生が考えられる場合

本文中のマークは、次の意味を表わします。
（マークの中や周辺に具体的な内容が書かれています。）

⊘	絶対に行わないでください。
⊘	絶対に触れないでください。
⊘	絶対に分解修理・改造はしないでください。

	必ず指示に従い、行ってください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 危険

ガソリン厳禁
ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

ガソリン厳禁

⚠ 警告

スプレー缶厳禁
殺虫剤などのスプレー缶を温風のあたるところに放置しないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

可燃性ガス使用厳禁
ファンヒーターを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの(ベンジン、シンナー)、スプレーを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

寝るとき消火
寝るときや外出するときは、必ず消火してください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

⚠ 警告

温風吹出口をふさがない
衣類、紙などで温風吹出口、燃焼・温風空気取入口をふさがないでください。
異常燃焼や火災の原因になります。

換気必要
換気せずに使用しつづけないでください。
酸素が不足すると不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。
窓の凍結、地下室など換気が充分に行えない場所では使用しないでください。

⚠ 注意

1 設置

可燃物との距離を離す
図に示すファンヒーターの周囲には可燃物を置かないでください。
火災の原因になります。

（水平で丈夫な床面に設置）

カーテン、可燃物近接禁止
カーテンや燃えやすいもののそばなどでは使用しないでください。
火災が発生するおそれがあります。

人があたたまる目的以外使用禁止
衣類の乾燥や、動・植物の育成・栽培、人のいない場所では使用しないでください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

次の場所では使用しない
火災や予想しない事故の原因になります。

- ○カーテンなど可燃物のそば
- ○振動の激しい場所
- ○水平でない場所、不安定な場所
- ○不安定な物を乗せた棚などの下
- ○風のあたる場所、部屋の出入口(人通りの多い場所など)
- ○屋外
- ○人のいない場所（温室、飼育室など）
- ○可燃性ガスの発生する場所またはたまる場所

→ 火災の原因になります。

- ○窓の凍結などのため、換気が充分に行えない場所
- ○暖炉や押し入れなど、ファンヒーターが囲われる場所
- ○ほこり、湿気、金属粉の多い場所
- ○標高1,000m以上の高地

→ 不完全燃焼の原因になります。

- ○直射日光のあたる場所
- ○理・美容院、クリーニング店、はんだ付け作業所、メッキ・塗装工場などスプレーや化学薬品を使う場所
- ○シリコーン配合の枝毛用コート液、化粧品(ムースなど)つや出し剤、防水スプレーを使用する場所（また、近くの部屋で使用した場合も空気の流れで影響を受けることがあります。）

→ 故障や予想しない事故が発生する原因になります。

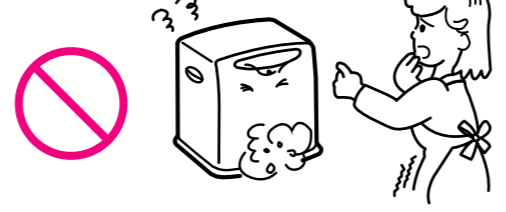
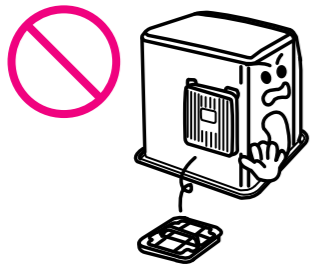
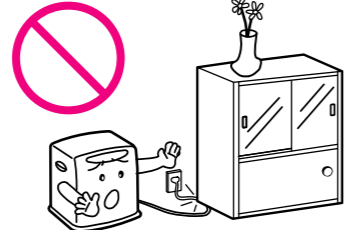
ご使用前 安全のために必ずお守りください

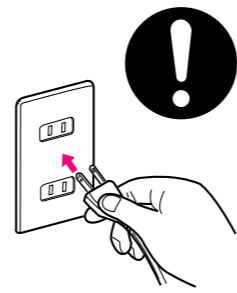
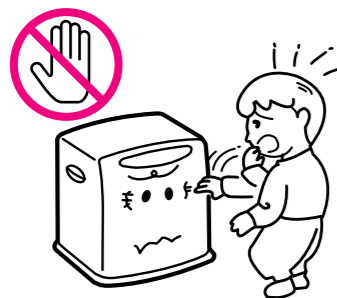
安全のために必ずお守りください

⚠注意

2 使用時

移動に注意
ファンヒーターを持ち運ぶときは、火を消してカートリッジタンクを取り出し、傾けないように静かに運んでください。
灯油がこぼれると火災の原因になります。

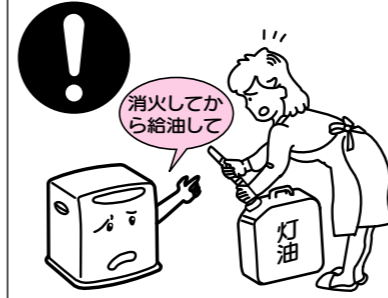
異常時使用禁止
におい、すすの発生、炎の色など異常を感じたときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。

ファンフィルターは必ず使用
ファンフィルターを取り外した状態では使用しないでください。
内部にほこりがたまり、異常燃焼の原因になります。

電源コードを傷めない
電源コードに無理な力を加えたり、重い物を乗せたりしないでください。また、高温部に近づけたり、束ねたまま使用しないでください。
電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。

電源プラグは確実に差し込む
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。

小さいお子さまに特にご注意いただきたいこと

高温部接触禁止
燃焼中や消火直後は温風吹出口に手など触れないでください。
やけどのおそれがあります。

温風に直接あたらない
温風に直接長時間あたらないでください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。

本体内に手や物を入れないで
温風吹出口や燃焼・温風空気取入口に手や可燃物・針金などの異物を入れないでください。けがややけどを負ったり、火災・感電の原因になります。

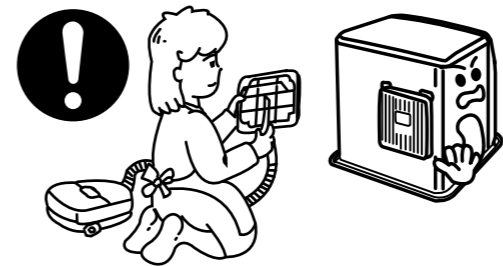
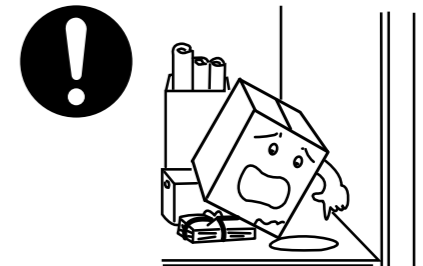
⚠注意

3 給油時

給油時消火
給油は必ず消火してから行ってください。
火災のおそれがあります。

油漏れ確認
口金は確実に閉めてください。
口金を下にして油漏れがないことを確かめてください。
口金を斜めに閉めたりすると簡単に口金が外れて、火災のおそれがあります。

居室内給油禁止
給油は必ず火の気のないところで行ってください。
火災のおそれがあります。

4 点検・手入れ・保管

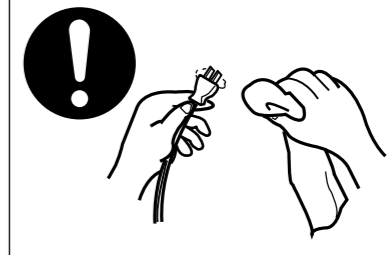
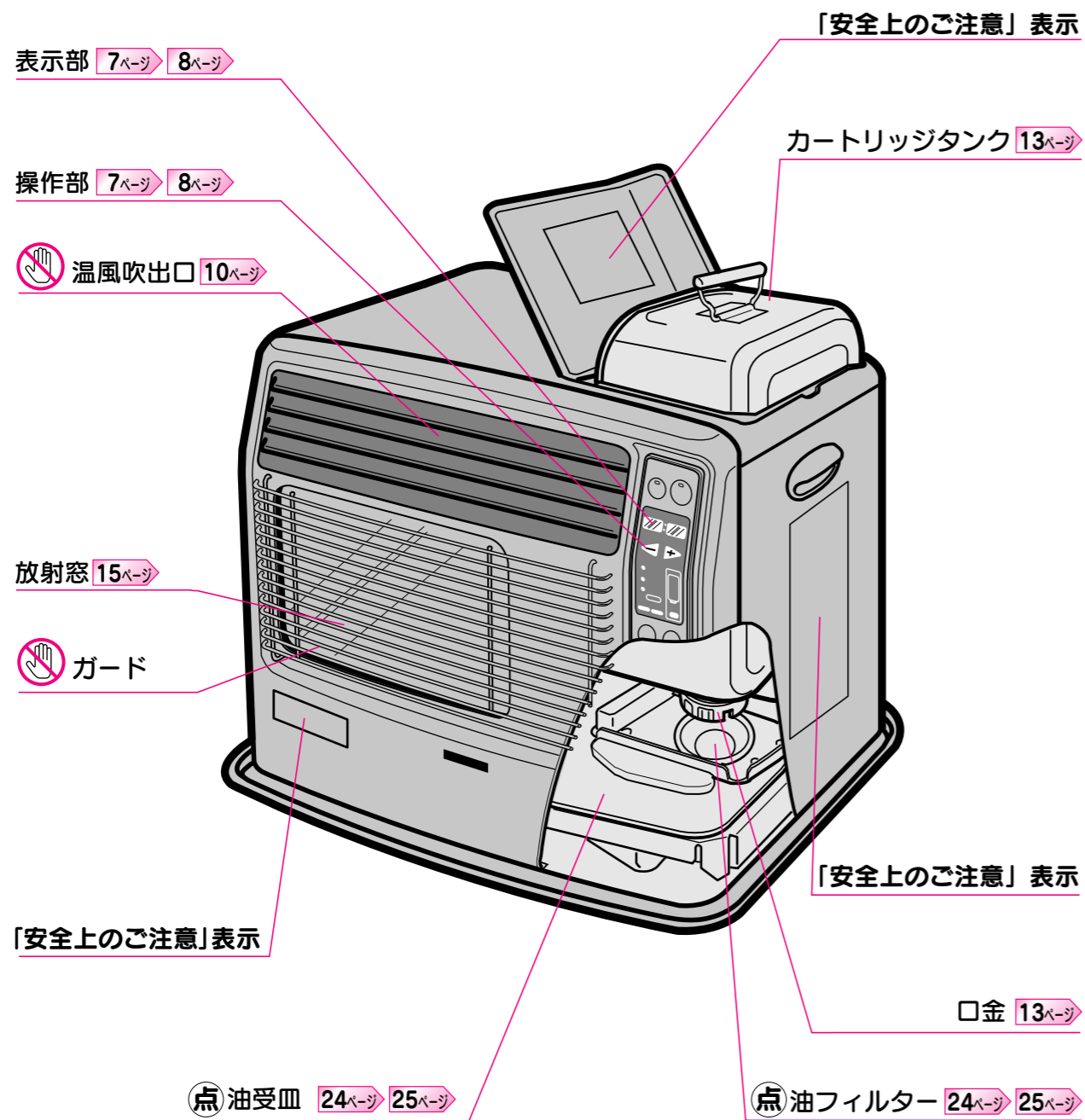
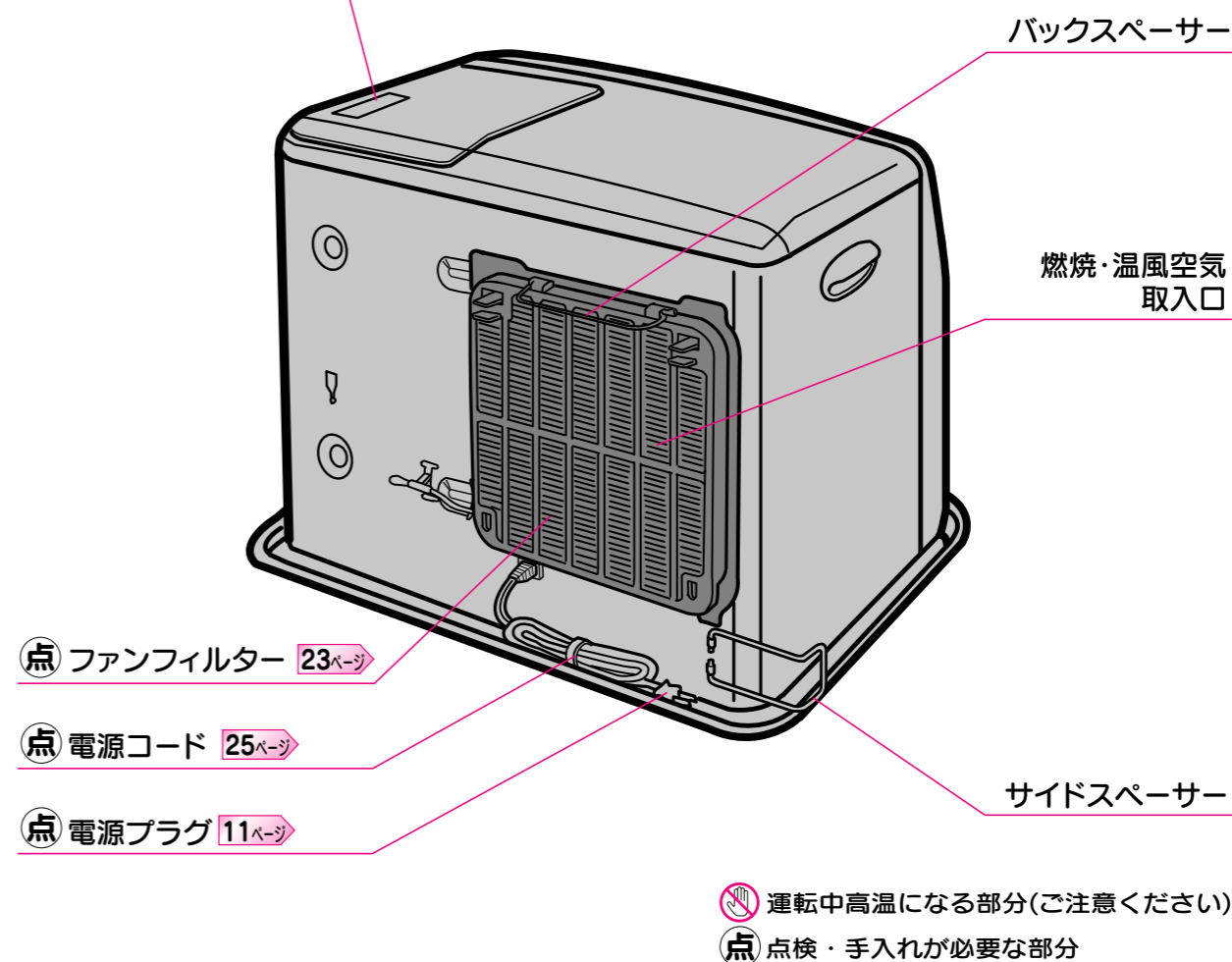
ほこりの除去
ファンフィルターは週に１回以上必ず掃除してください。
ごみ、ほこりなどが付着すると異常燃焼のおそれがあります。

保管時にしていただくこと
長期間使用しないときや、保管するときは、必ずカートリッジタンク、油受皿の灯油を抜き、傾けたり横倒しにしないでください。
火災のおそれがあります。

分解修理・改造の禁止
故障・破損したら、使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。

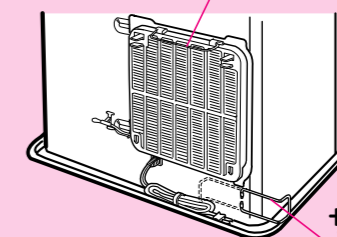
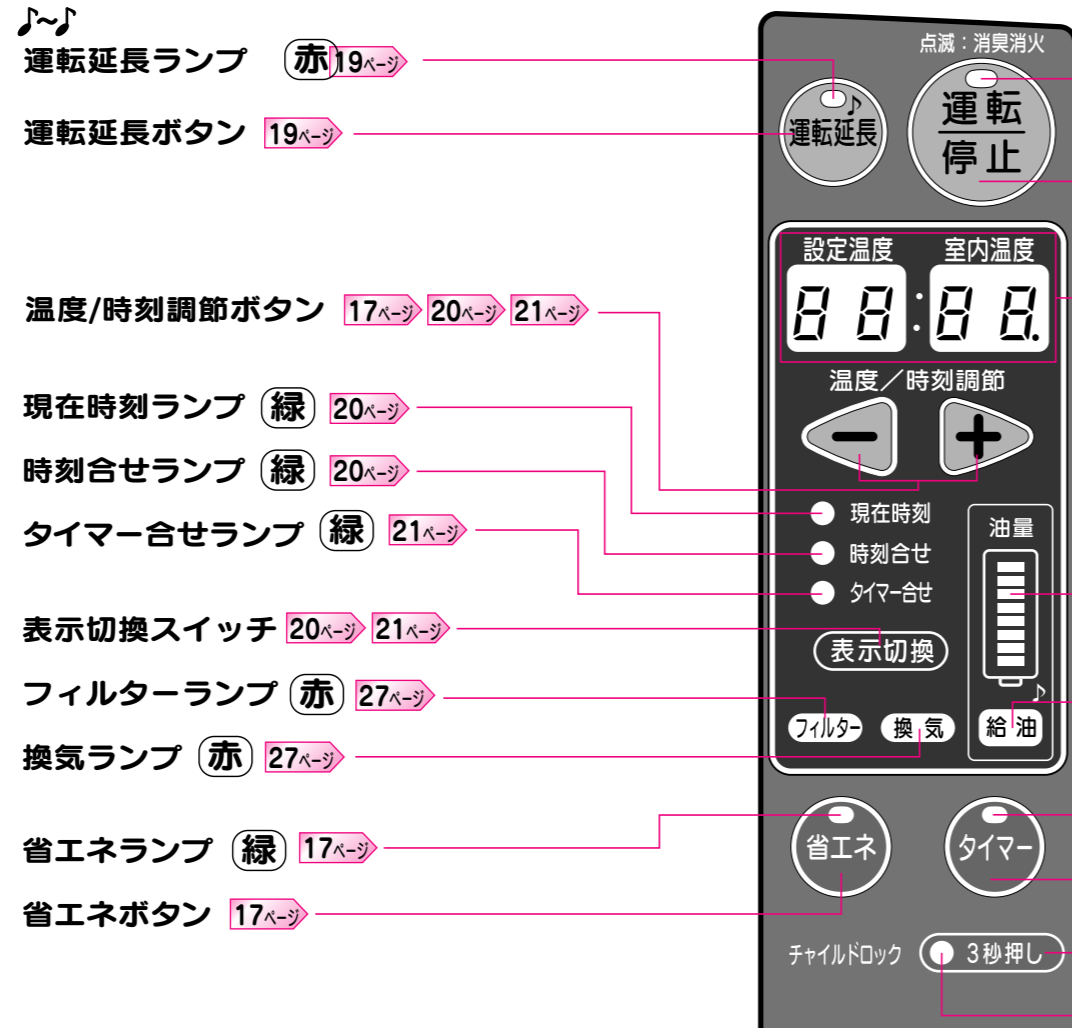
電源プラグのお手入れを
ときどきは電源プラグを抜き、ほこりや金属物を除去してください。
湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

各部のなまえ

外観図

運転中高温になる部分(ご注意ください)
点 点検・手入れが必要な部分

お守りください

●バックスペーサーは図のように水平に倒してお使いください。
カーテンなどで燃焼・温風空気取入口がふさがれるのを防ぎます。
●サイドスペーサーはファンヒーターの左側面が壁に近い場合、壁に密着しないよう図のようにしてお使いください。

各部のなまえ

操作部

※図は説明のため全部点灯した状態です。
使用上、全部点灯することはありません。

メロディーと電子音の切り換え方

「給油の合図」と「燃焼残り時間のお知らせ」は**メロディー**でお知らせします。
（「給油の合図」と「燃焼残り時間のお知らせ」ではメロディーが異なります。）

○運転中に、運転延長ボタンを約５秒押すと、**メロディーから電子音**に切り換わります。

ピッポッ ピッポッ ピッポッ

○再度,運転中に、運転延長ボタンを約５秒押すと、**電子音からメロディー**に切り換わります。

電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、**メロディー**になります。

表示部

表示部は**表示切換スイッチ**を１回押すごとに、**1** ～ **4** の順で切り換わります。

1 現在時刻表示 20ページ

※現在時刻を合わせていないときは

になります。

2 時刻合せ表示 20ページ

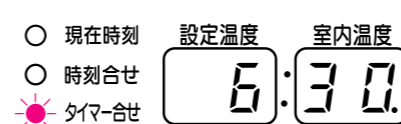
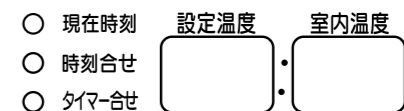
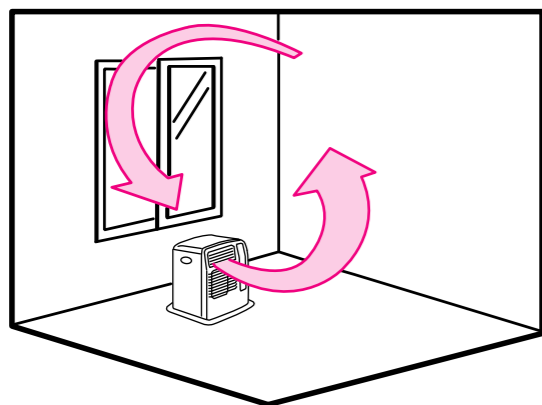
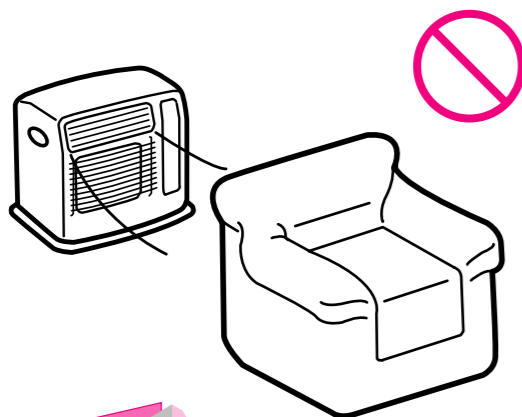
3 タイマー合せ表示 21ページ 22ページ

（運転中）

4 温度表示 17ページ

（運転停止中）

4 運転停止中表示 16ページ

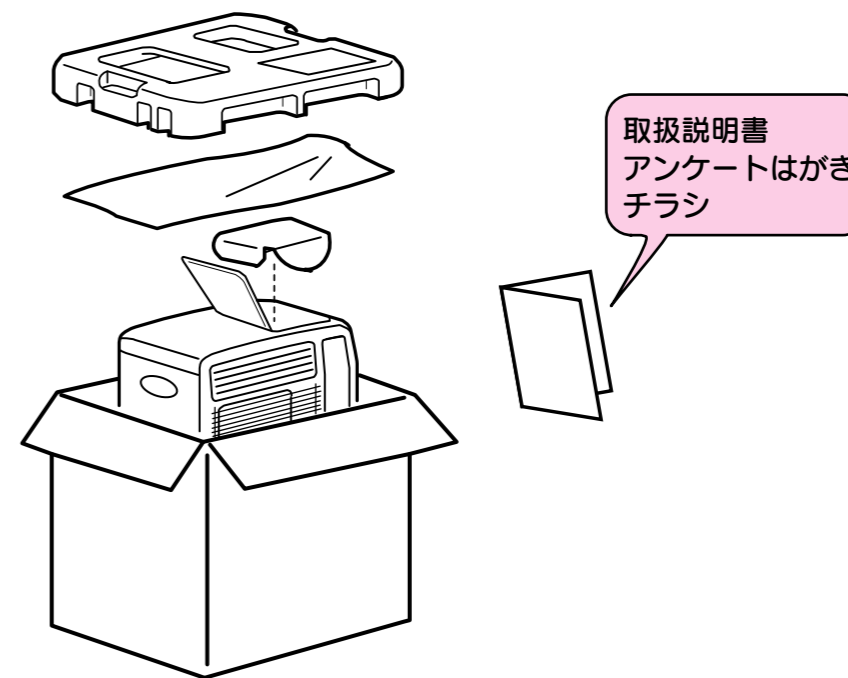
使用する場所

効果的に使用するために

○外気に接する窓の下や壁側に設置する。

○温風の循環を妨げない。

メモ

○温風やほこり、たばこの煙などが原因で、ファンヒーター周辺の床（木質床、カーペット、畳）が変色したり、そり返ることがあります。
定期的に位置を移動させるか、熱に強いマットなどを敷いて使用してください。

使用前の準備

ファンヒーターの取り出し

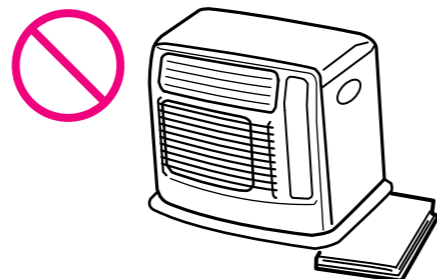
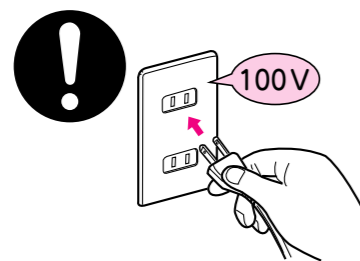
1 梱包材等を取りのぞき、ファンヒーターを取り出す

お守りください

○梱包材は保管時に必要となりますので、大切に保管してください。

使用前の準備

運転開始前の準備と確認

1 水平な場所に設置する

ファンヒーターが傾いた状態では使用しないでください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

2 電源プラグをコンセント(100V)に差し込む

お守りください

○200V電源には絶対に差し込まないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
○タコ足配線はしないでください。
火災の原因になります。

燃　　料

燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

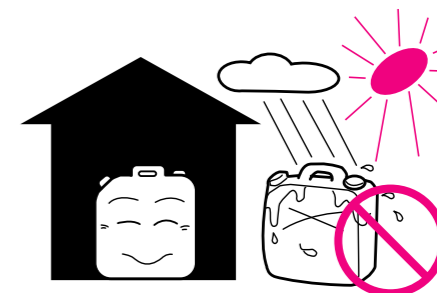
ガソリン、変質灯油、不純灯油（汚れた灯油、水の混入した灯油など）は、絶対に使用しないでください。
異常燃焼や故障の原因になります。

灯油とガソリンの見分け方

指先につけて、息を吹きかけてください。
（火の気のないところで）

灯油の場合	ガソリンの場合
濡れたまま	すぐ乾く

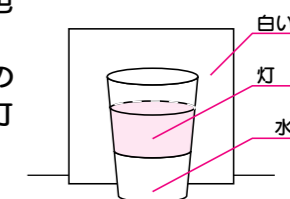
■正しい灯油の保管方法

○火気、雨水、ごみ、高温、直射日光を避けた場所に保管する。
○容器のフタをしっかり閉める。
○容器は必ず灯油専用のものを使用する。
○色のついた容器を使用する。
（乳白色の容器は変質しやすくなります。）

変質灯油・不純灯油とは

■変質灯油

○昨シーズンより持ち越したもの。
○高温の場所で長期間保管したもの。
○日光のあたる場所で長期間保管したもの。

変質灯油の見分け方

水より少しでも色がついていたり、すっぱいにおいのするものは変質灯油です。

■不純灯油

○灯油以外の油（ガソリン、シンナー、天ぷら油、機械油、重油、軽油、灯油添加剤など）がほんの少しでも混入したもの。
○水やごみがわずかでも混入したもの。
○灯油水抜剤や助燃剤を添加した灯油。

変質灯油や不純灯油を使用したときの症状

○においが強くなる。
○黄色い炎が混じる。15ページ
○火力が上がらない。
○消火しにくい。
○着火しにくい。

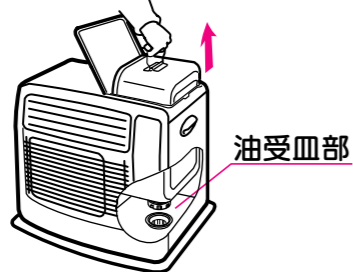
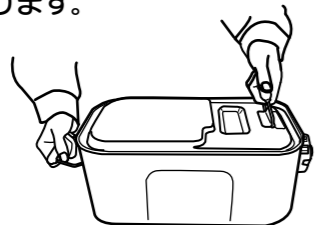
万一変質灯油や不純灯油を使用したときの処置方法

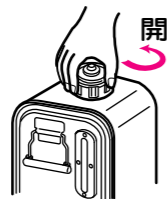
○灯油を抜き、きれいな灯油でカートリッジタンクや油受皿内を洗ってからご使用ください。24ページ 25ページ
○着火･消火を5回程度繰り返してください。
（少しにおいがしますので、換気を充分に行ってください。）
○それでも直らないときは修理が必要となります。お買い上げの販売店にご相談ください。29ページ

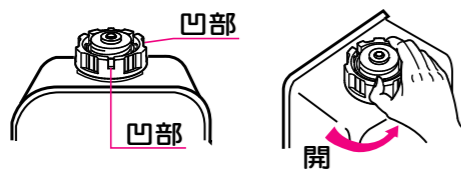
○変質灯油、不純灯油が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。

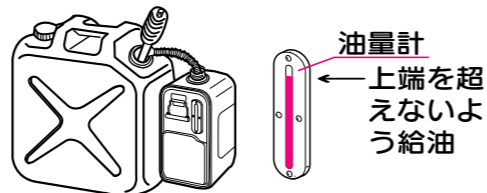
使用前の準備

給油のしかた

1 カートリッジタンクを取り出す

○カートリッジタンクを持ち運ぶときは上下２つあるとってを利用すると、持ちやすくなります。

2 口金を外す

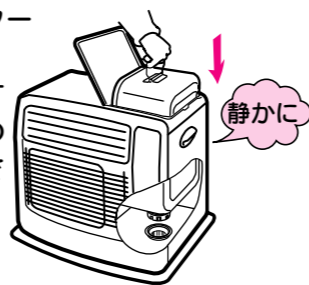
○口金の外側を持って回すと手が汚れにくく、口金が外しやすくなります。

口金が外しにくいとき

○下図のように、口金外側の凹部に指をひっかけて矢印の方向に回すと、簡単に口金が外せます。

3 給油する

○灯油をこぼさないように注意し、油量計の上端を超えないよう給油します。

4 口金を確実に閉める

○こぼれた灯油は完全に拭き取ってください。
○口金を下にしても油漏れがないことを確認してください。

5 カートリッジタンクをセットする

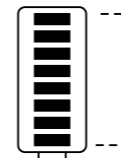
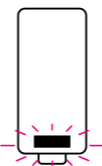
○**バーグラフ油量計**のバーが点灯します。
○カートリッジタンクをセットした後、ファンヒーターを運んだり、ゆすったりすると、口金の外側が灯油でぬれる場合があります。

お守りください

○**４ページ『安全のために必ずお守りください』の「3 給油時」をよく読み、注意してください。**
○**給油時、口金をぶつけないよう、取り扱いに注意してください。**
口金が変形すると油漏れのおそれがあります。
○**カートリッジタンクは静かに入れてください。落とすように強く入れると、バーグラフ油量計の精度が悪くなるおそれがあります。**

給油の合図

便利な機能

■バーグラフ油量計

○灯油の残量表示

1本ずつ消灯します。（8段階）　　8段階のバーグラフで灯油の残量を確認できます。

○給油の合図

残り約１時間の燃焼が行えないときに次の操作を行うと、バーグラフが点滅すると同時に電子音が鳴って、灯油が残り少ないことをお知らせします。ピッピッ
○運転を開始するため**運転/停止スイッチ**を押したとき
○運転中に**運転延長ボタン**を押したとき
○タイマー運転をセットしたとき

■給油２段階サイン

○給油の合図を２回に分けて**メロディー**と**給油ランプ**の点滅でお知らせしますので、手が離せないときもあせらず給油が行えます。
（メロディーお知らせを解除するには・・・・ 8ページ）

１回目のお知らせ

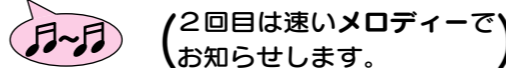
○カートリッジタンクの灯油がなくなると、**給油ランプ**がゆっくりと点滅し、**メロディー**が鳴ります。

約20分～50分（FB-4360LD）
約15分～40分（FB-5360LD）

２回目のお知らせ

○油受皿の灯油が残り少なくなると、**給油ランプ**の点滅が速くなり、**メロディー**が鳴って火力が小さくなります。

（２回目は速い**メロディー**でお知らせします。）

（設定温度が Hi のときは、大火力で燃焼します。）

約50分～60分（FW-4360LD）
約30分～40分（FW-5360LD）

○そのまま使用しつづけると、油受皿の灯油がなくなり、"E 03"を表示して自動消火します。

（使用状況などにより２回目のお知らせと同時に消火することがあります。）

※燃焼時間は火力によって異なります。

自動消火したとき

○給油を行い、**運転／停止スイッチ**を押すと、運転を開始します。

メモ

○給油２段階サイン中に電源プラグを抜いたり停電したときは、次回運転時は２回目のお知らせからとなります。また、燃焼時間は前回の使用状況により異なります。

運転開始

運転を開始するとき

運転/停止スイッチを押し、運転を開始します。

運転停止中に

設定温度 室内温度

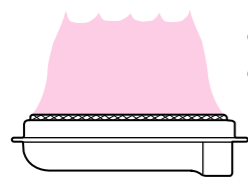
22:15

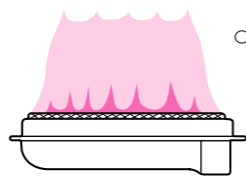
- ○**運転ランプ**が点灯します。
- ○**設定温度と室内温度**を表示します。
  - ・室内温度は、1℃から表示し、0℃以下のときはLoを表示します。

⇩

約40秒後に着火します。
（FB-5360LDは約45秒）

放射窓から炎の状態を確認する

○正常燃焼

- ○青い炎で燃焼する
- ○バーナの網が赤くなる

×異常燃焼

- ○青い炎の中に常に黄色い炎が現れる

処置を行ってください。

メモ

- ○初めてお使いになるときは、防錆油や耐熱塗料が焼け、煙やにおいが出ることがあります。しばらくの間、部屋の換気をしながらご使用ください。
  1時間ほどでおさまります。

運転停止

運転を停止するとき

運転/停止スイッチを押し、運転を停止します。

運転中に

- ○表示部が消灯します。
- ○約6秒間、**消臭消火ランプ** が点滅します。

⇩

約6秒後に消火します。

必ず火が消えたことを確認してください。

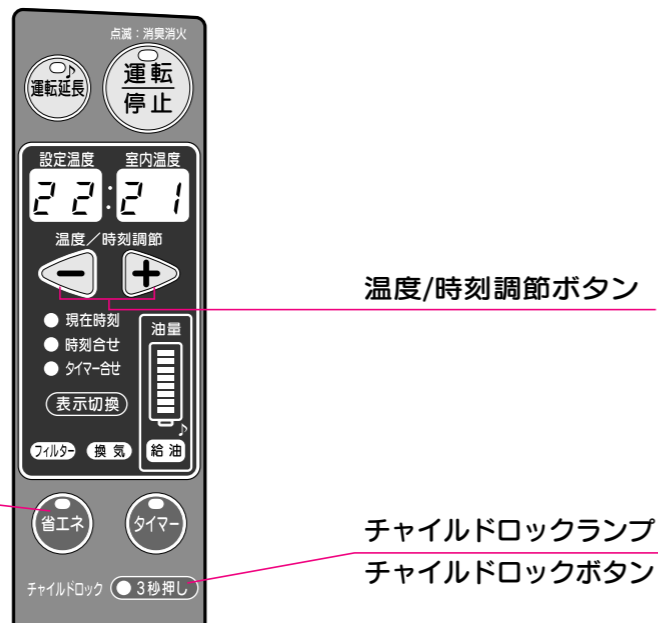
消臭機能

- ○消火時に発生するにおいの原因となる未燃ガスの発生を抑える機能です。
  運転/停止スイッチを押すと、約6秒間、未燃ガスを燃焼させてから消火します。
  このとき**消臭消火ランプ**（赤）が点滅し、消臭機能が動作していることをお知らせします。

- ○**運転/停止スイッチ**を押してから、約6秒後に「**カタン**」という電磁弁が閉じる音がしますが、異常ではありません。
  また、異常停止や短時間での運転では消臭機能は動作しません。

お守りください

- ○**消火は必ず運転/停止スイッチで行い、運転停止後3分間は、本体内を冷やすため、ファンが回っていますので、電源プラグを抜かないでください。**
  電源プラグを抜いて消火したり、消火後すぐに電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

室温の調節

温度/時刻調節ボタン

省エネランプ
省エネボタン

チャイルドロックランプ
チャイルドロックボタン

設定温度を上げるとき・下げるとき

温度/時刻調節ボタンを押し、設定温度を調節します。

- ○**室内温度**をめやすに**設定温度**を調節してください。
- ○設定温度は12～30℃の範囲と、Lo(常に小火力)、Hi(常に大火力)に調節できます。
- ○現在時刻表示にしているときは、**表示切換スイッチ**を押し温度表示にしてから調節してください。

設定温度を上げるときは…

運転中に

を押す

１回押すごとに１℃ずつ上がります。

設定温度を下げるときは…

運転中に

を押す

１回押すごとに１℃ずつ下がります。

省エネ運転

○ファンヒーターがお部屋の暖まり具合を自動的に判断し、身体に感じる温度を変えることなく、暖かさを保つよう燃焼量を抑え、無駄な暖めすぎを抑える運転を省エネ運転と言います。

省エネ運転にするときは…

運転中に

を押す

○**省エネランプ**が点灯します。

省エネ運転を解除するときは…

省エネ運転中に

を押す

○**省エネランプ**が消灯します。

メモ

- ○狭い部屋や断熱のよい部屋でご使用のとき、あるいは外気温が比較的高いときに室内温度が設定温度より上がることがあります。そのときは運転を停止してください。
- ○室内温度の表示は、室内平均温度のめやすです。設置方法などにより必ずしも寒暖計の温度とは一致しないことがあります。

チャイルドロックの使い方

チャイルドロックをセットする

小さなお子さまのいたずらや、運転誤操作を防止したいときにお使いください。

チャイルドロックボタンを押し、セットします。

運転中、運転停止中のどちらでもセットできます。

チャイルドロック ○3秒押し ⇨ チャイルドロック ●3秒押し

ピッ

をピッと鳴るまで約３秒間押す

○**チャイルドロックランプ**が点灯します。

運転中は…

運転を停止できる

を押す

運転を延長できる

を押す

運転停止中は…

○チャイルドロックの解除以外は、操作ができなくなります。

チャイルドロックを解除する

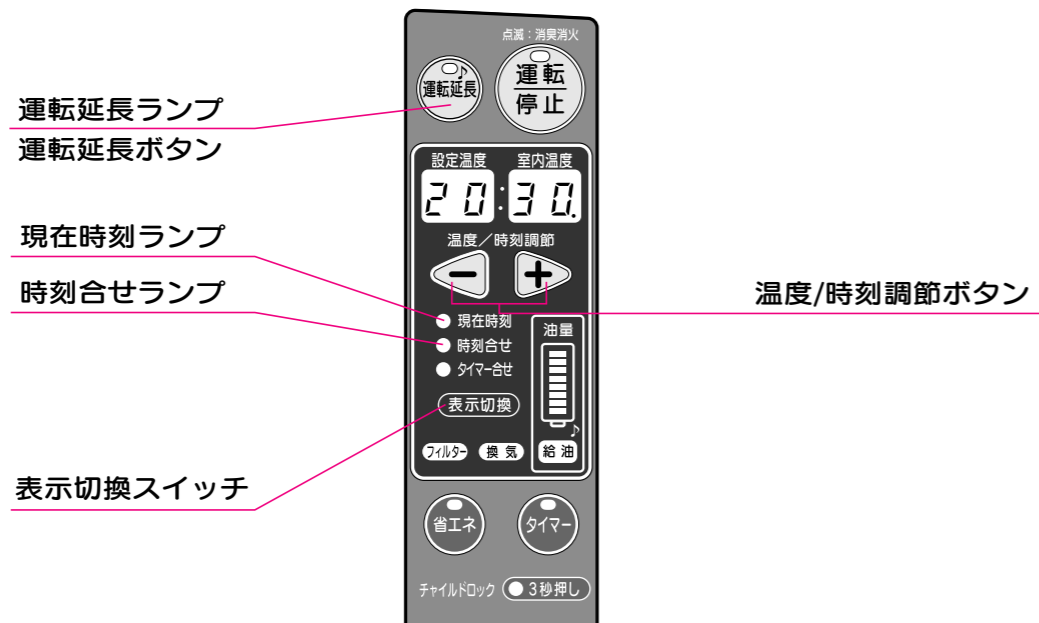
チャイルドロックボタンを押し、解除します。

運転中、運転停止中のどちらでも解除できます。

⇨

チャイルドロック ○3秒押し

をピッと鳴るまで約３秒間押す

○**チャイルドロックランプ**が点灯します。

消し忘れ消火装置と運転延長

消し忘れ消火装置と運転延長

消し忘れによる万一の事故を防ぐため、運転開始後約3時間で自動消火します。
使用状況によって、３時間より少し早く消火する場合があります。

燃焼残り時間のお知らせ

約3時間で自動消火する前に、**運転延長ランプとメロディー**でお知らせします。
（メロディーお知らせを解除するには・・・・ 8ページ）

自動消火10分前	自動消火５分前	自動消火（運転開始から約3時間経過）
運転延長ランプ点滅 **メロディーが鳴る**	運転延長ランプ点滅 **メロディーが鳴る**	運転延長ランプ点灯 **メロディーが鳴り、自動消火**

自動消火せずに運転を継続したいときは…

運転中に

を押す

○ **運転延長ボタン**は燃焼残り時間のお知らせを行ったときに限らず、**運転延長ボタン**を押したときから、さらに約３時間運転を継続します。

お守りください

○ **寝るときや外出するときは、消し忘れ消火装置には頼らず、必ず運転/停止スイッチで消火してください。**
予想しない事故が発生するおそれがあります。

現在時刻の合わせ方

現在時刻の合わせ方

タイマー運転を使用するときは、現在時刻を合わせてください。
現在時刻合わせは、運転中、運転停止中のどちらでも行えます。

現在時刻を午後８時30分に合わせるとき

1 時刻合せ表示にする 7ページ 8ページ

○ **時刻合せランプと時計表示が点滅**します。

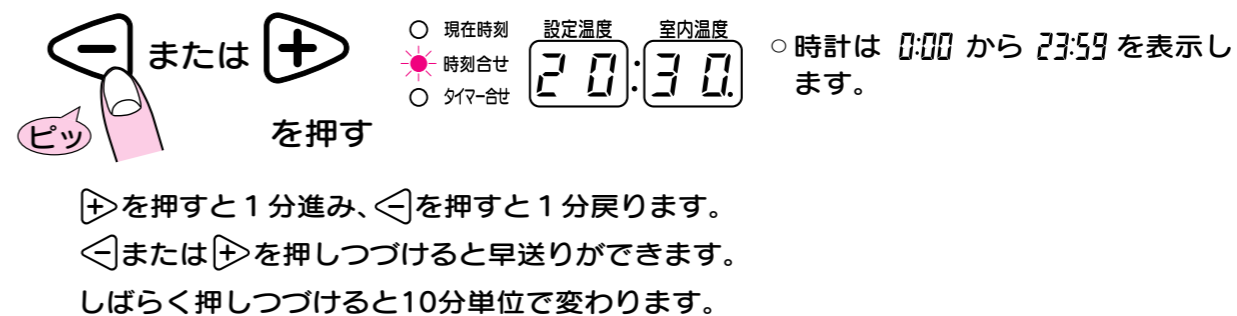
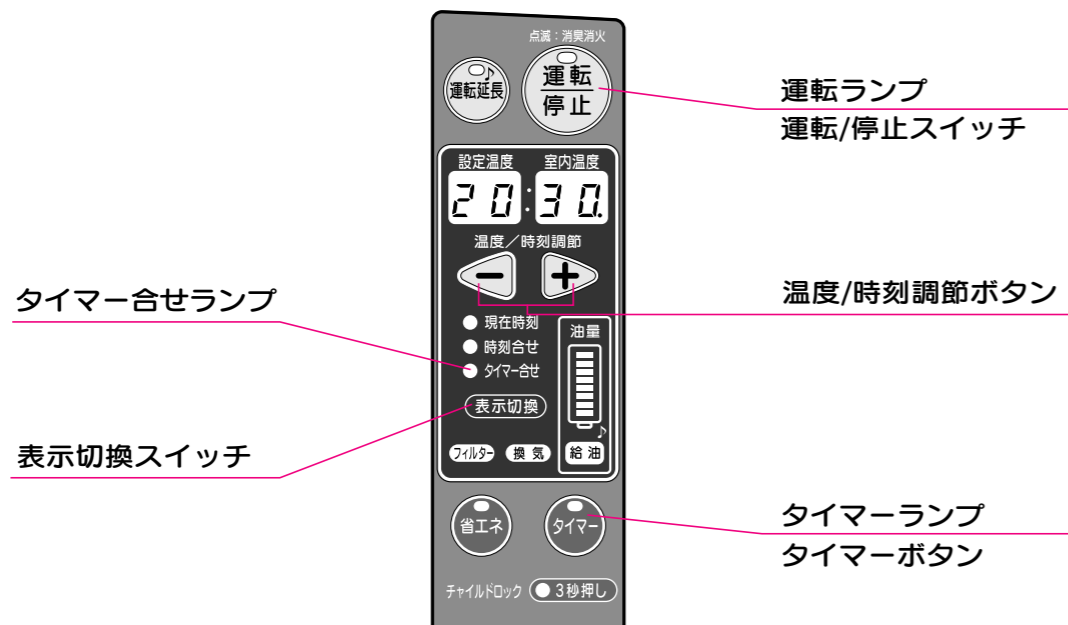
2 現在時刻を合わせる

○ 時計は 0:00 から 23:59 を表示します。

＋を押すと１分進み、－を押すと１分戻ります。
－または＋を押しつづけると早送りができます。
しばらく押しつづけると10分単位で変わります。

3 現在時刻表示にする

○ **現在時刻表示**になるまで、**表示切換スイッチ**を押してください。

タイマー運転の使い方

タイマー運転開始時刻をセットする

タイマー運転を使用するときは、タイマー運転開始時刻を合わせてください。

現在時刻合わせ、タイマー運転開始時刻合わせは運転中、運転停止中のどちらでも行えます。

タイマー運転開始時刻を午前６時30分にするとき

1 現在時刻が合わせてあることを確認する

を押す

○現在時刻を合わせないとタイマー運転はできません。
○現在時刻の合わせ方は、20ページを参照してください。

2 タイマー合せ表示にする 7ページ 8ページ

を押す

○**タイマー合せランプ**が点滅、**時計表示**が点灯します。

3 タイマー運転開始時刻を合わせる

を押す

○時計は 0:00 から 23:59 を表示します。

+を押すと１分進み、−を押すと１分戻ります。
−または+を押しつづけると早送りができます。
しばらく押しつづけると10分単位で変わります。

4 運転状態にする

を押す

○**運転ランプ**と**設定温度、室内温度**が点灯します。
○運転中は、**運転/停止スイッチ**を押す必要はありません。

5 タイマー運転待機中にする

を押す

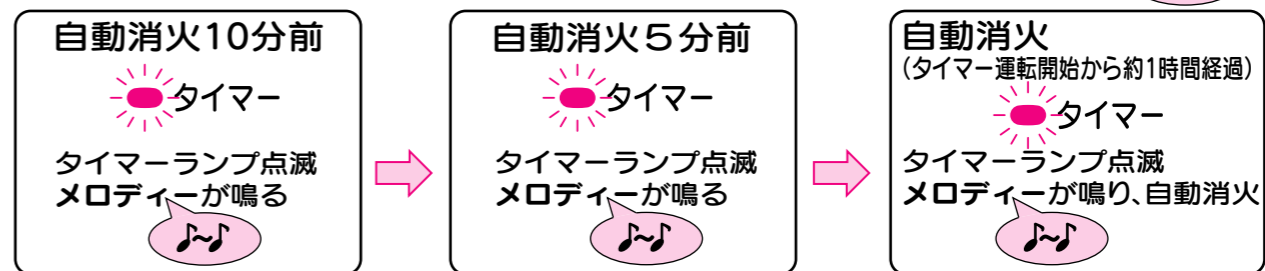
○**運転ランプ**が消灯し、**タイマーランプ**が点灯すると、セットが完了します。

○タイマー運転のセットをしてから**運転/停止スイッチ**を押すと、タイマー運転が解除されますので、ご注意ください。

○１度タイマー運転時刻を合わせると、次回からは **4** 、**5** を行うだけで同じ時刻に運転が開始できます。

セットした時刻になるとタイマー運転開始

セットした時刻になると自動的にタイマー運転を開始し、安全のため、約1時間で自動消火します。約1時間で自動消火する前に**タイマーランプ**と**メロディー**でお知らせします。（メロディーお知らせを解除するには・・・・ 8ページ）

自動消火10分前	自動消火５分前	自動消火（タイマー運転開始から約1時間経過）
タイマー タイマーランプ点滅 **メロディー**が鳴る	タイマー タイマーランプ点滅 **メロディー**が鳴る	タイマー タイマーランプ点滅 **メロディー**が鳴り、自動消火

自動消火せずに運転を継続したいときは、**タイマーボタン**を押し、タイマー運転を解除してください。

タイマー運転を解除する

タイマー運転待機中

を押す

○**タイマーランプ**が消灯します。

タイマー運転中

を押す

○運転を継続します。

○電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、再度、現在時刻を合わせ、タイマー運転開始時刻をセットし直してください。
○地震があったときは、もう１度 **4** からセットし直してください。

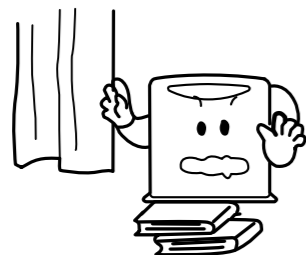
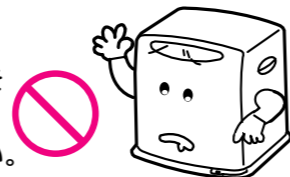
点検・手入れのしかた

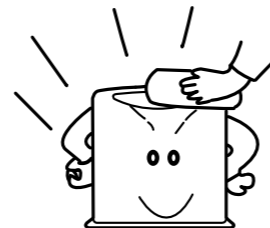
お守りください

○点検・手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、本体が冷えてから電源プラグを抜き、点検・手入れを行ってください。火災ややけどのおそれがあります。

ご使用のたびに

本体の周辺に可燃物はないか

油漏れ、油のたまり、油のにじみはないか

異常があるときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

本体のごみやほこりを拭き取る

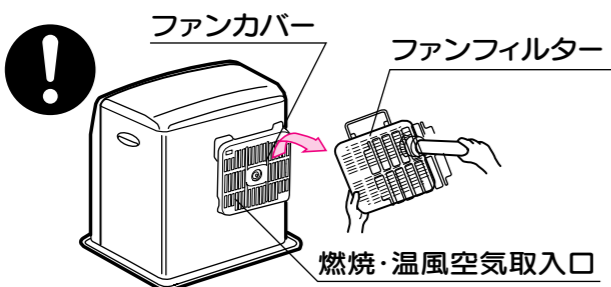
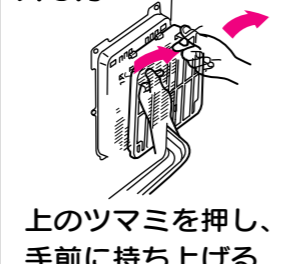
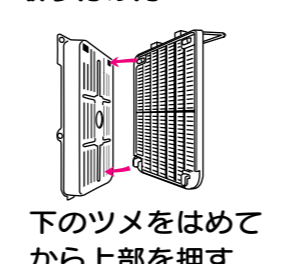
柔らかい布でから拭きするか、うすめた中性洗剤をしみ込ませた布で拭いてください。
本体をベンジン・シンナーなどで拭かないでください。

週に1回以上は

ファンフィルターのほこりを取る

ファンフィルターの外し方

上のツマミを押し、手前に持ち上げる

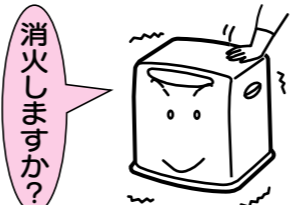
ファンフィルターの取り付け方

下のツメをはめてから上部を押す

お守りください

○ファンフィルターをファンカバーに取り付けたまま、掃除機などで強くこするようにすると、ファンフィルターが破損することがあります。必ずファンカバーからファンフィルターを取り外し、強い力をかけないようにお手入れしてください。

1ヶ月に1回以上は

対震自動消火装置の点検

燃焼中にゆすると消火するか確認してください。
消火しない場合は修理が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。

1ヶ月に1回以上は

油受皿内の点検をする

カートリッジタンクに直接水を混入しなくても、設置場所の温度変化などで結露によりカートリッジタンク内に水がたまり、油フィルター、油受皿内に流入する場合があります。
水が混入していた場合は、25ページの **2** に従い、水を取りのぞいてください。

油受皿内に水が混入すると →
- 給油ランプの点滅が止まらない
- 着火ミスしたり、異常停止する（E02、E03）

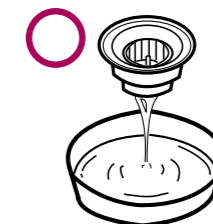
油フィルターの点検・掃除をする

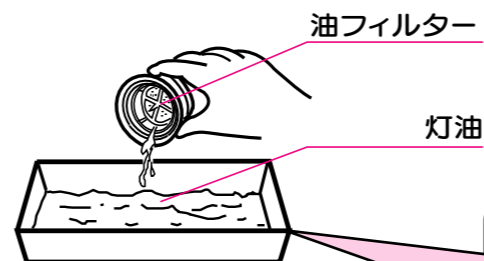
以下の手順に従い、点検・掃除を行ってください。

油フィルターに水やごみがたまっていると →
- 給油ランプの点滅が止まらない
- 着火ミスしたり、異常停止する（E02、E03）

1 カートリッジタンクを抜き、油フィルターを確認する

油フィルターに灯油を入れ、持ち上げる。

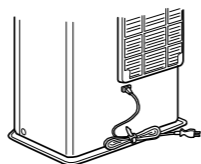
× 灯油が水滴のように落ちる。または、全く落ちない。
↓
油フィルターが目づまりしています。
↓
2 に従い、掃除してください。

○ 灯油が糸を引くように落ちる。（約10秒）
↓
油フィルターは目づまりしていません。
↓
正常です。

2 油フィルターはきれいな灯油ですすぎ洗いし、乾燥させる

油フィルターはきれいな灯油ですすぎ洗いし、ごみなどを取りのぞき、布などで灯油を拭き取ったあと、日陰に置いてよく乾燥させてください。
油フィルターに水分が残っていると、灯油が落ちず、給油ランプが点滅します。

洗浄後の灯油の処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。洗浄後の灯油を使用すると故障の原因となります。

保管のしかた（長期間使用しない場合）

次の手順に従ってファンヒーターを保管してください。

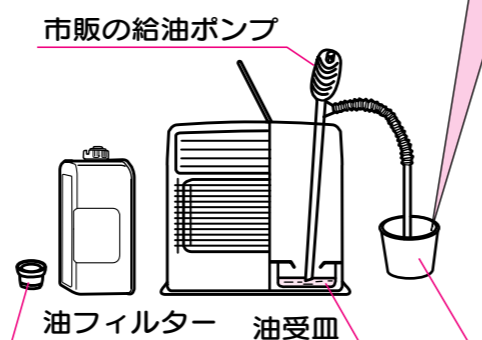
1 電源コードを束ねる

2 カートリッジタンク内と油受皿内の灯油をすべて抜く

油フィルターを取りのぞき、市販の給油ポンプなどで、油受皿内の灯油をすべて抜き取ってください。

○抜き取りが悪い

給油ポンプの先をカットし、抜き取りやすいようにしてください。

○灯油が抜けきらない

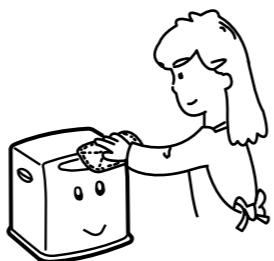
布などで油受皿内をよく拭いてください。

プラスチック製の容器を使用した場合は、長時間そのまま、放置しないでください。

メモ

○別売のスポイトを用意しています。スポイトをご使用されますと、市販の給油ポンプで抜けきらなかった灯油が抜き取りやすくなります。
スポイトの使用をご希望される場合は、お買い上げの販売店にご注文ください。

3 ファンフィルターと油フィルターの掃除をする 23ページ 24ページ

4 ファンヒーター本体の汚れを拭き取る 23ページ

5 ファンヒーターを箱に入れる
ファンヒーターは、湿気の少ない場所に保管してください。

お守りください

○ファンヒーターを傾けたり、横倒しにしないでください。油漏れなどにより、火災のおそれがあります。
○カートリッジタンク内と油受皿内の灯油は完全に抜き取ってください。灯油が残っていると変質し、故障の原因になります。
○灯油は翌シーズンに持ち越さず、使いきるようにしてください。

故障・異常の見分け方と処置方法

修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前に1度ご確認ください。

○ 着火時

症　　状	原　　因
すぐ着火しない	○予熱時間が約40秒必要です。（FB-5360LDは約45秒） ○給油直後は灯油が送油経路に回るまで時間がかかります。２、３回着火動作を繰り返してください。
「ジー」と音がする	着火するための放電音です。 異常ではありません。
初めて使用するときや灯油がなくなり、再び着火するとき白煙が出る	灯油の気化ガスがバーナに充分回らないと、このような症状が出ることがありますが、異常ではありません。

○ 燃焼時・消火時

症　　状	原　　因
初めて使用するとき煙やにおいが出る	防錆油や耐熱塗料が焼けるためです。しばらくの間、部屋の換気をしながらご使用ください。１時間ほどでおさまります。
炎の色がピンク、またはオレンジ色になる	超音波式の加湿器を使用すると起こります。水に含まれるカルシウム分による反応です。
炎の色がときどきチラチラと赤くなる	空気中のほこりが燃えるためです。
バーナの網が赤くなる	青い炎の中に黄色い炎が現れなければ、異常ではありません。
室温を高めに設定しても室温が上がらない	部屋が広すぎる場合に起こります。
室温を低めに設定しても室温が下がらない	狭い部屋や断熱のよい部屋でご使用のとき、あるいは外気温が比較的高いときに室温が設定温度より上がることがあります。そのときは運転を停止してください。
室内温度表示が部屋の寒暖計と一致しない	室温の表示は、室内平均温度のめやすです。設置方法などにより必ずしも寒暖計の温度とは一致しないことがあります。
運転中または消火直後に「ポコ」、「パキッ」などの音がする	金属が熱により膨張・収縮するためです。 異常ではありません。
運転停止後、約6秒後に「カタン」と音がする	消火時の動作音であり、異常ではありません。

故障・異常の見分け方と処置方法

異常の原因と処置のしかた

何らかの異常で表のようなエラー表示や症状が現われたときは、適切な処置を行ってください。

表示部(エラー表示)	原　因(安全装置)	処　置　方　法
全消灯	一時停電した、または電源プラグが抜けかかっているため、自動消火した(停電安全装置が作動)	電源プラグを確実にコンセントに差し込み、**運転/停止スイッチ**を押し直す。
E01	地震(約震度5以上)や強い振動、衝撃を受けたため、自動消火した(対震自動消火装置が作動)	周囲の可燃物、機器の損傷、油のあふれなど異常がないことを確認した後、**運転/停止スイッチ**を押し直す。
E02 E03	着火ミスしたり、油フィルターや油受皿内に水やごみがたまったため、自動消火した(燃焼制御装置が作動)	油受皿内の水やごみを取りのぞき、油フィルターは水分をよく乾燥させた後、**運転/停止スイッチ**を押し直す。24ページ
E07	室温が異常に高温(40℃以上)になったため、自動消火した(室温異常高温防止装置が作動)	設置方法を確かめ、**運転/停止スイッチ**を押し直す。
E09 フィルター フィルター	燃焼・温風空気取入口やファンフィルター、温風吹出口が物でふさがれたり、ほこりがたまったため、自動消火した(過熱防止装置が作動)	○燃焼・温風空気取入口やファンフィルター、温風吹出口の障害物を取りのぞき、掃除した後、**運転/停止スイッチ**を押し直す。 ○処置を行っても繰り返し作動するときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。29ページ
E 13 換気	密閉した部屋で使用した場合、不完全燃焼(部屋の空気の異常状態)を防止するため、自動消火した(不完全燃焼防止装置が作動)	部屋の空気を入れ替えてから**運転/停止スイッチ**を押し直す。(使用中は必ず1時間に1～2回換気する)
時間延長ランプ点灯(19ページ参照)	燃焼を開始してから約3時間が経過したため、自動消火した(消し忘れ消火装置が作動)	**運転/停止スイッチ**を押し直す。
運転ランプ点滅 時間延長ランプ点滅 Err点灯	**運転/停止スイッチ**が押しつづけられたため、自動消火した	表示・操作部周辺の障害物を取りのぞき、コンセントを入れ直してから**運転/停止スイッチ**を押し直す。
F00～F 10	修理・点検が必要な故障です	表示内容を控えた後、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。29ページ

症　状	原　　因	処　置　方　法
運転を開始しない	チャイルドロックがセットされている	チャイルドロックを解除する。18ページ
給油ランプの点滅が止まらない	灯油がなくなった	給油する。13ページ
	カートリッジタンクが変形している	○油フィルターに灯油がたまっているときは、油フィルターの点検・掃除をする。24ページ ○油フィルターに灯油がたまっていないときは、カートリッジタンクを新しいものと交換する。裏表紙
	油フィルターや油受皿内に水やごみがたまっている	油フィルターの点検・掃除をする。24ページ
火力が上がらない	給油ランプが点滅している	
	給油ランプが点滅している	給油する。13ページ
	変質灯油・不純灯油を使用した 12ページ	○油受皿やタンク内の灯油を抜き、きれいな灯油で洗う。24ページ ○着火・消火を5回程度繰り返す。(少しにおいがしますので、換気を充分に行ってください。)
異常燃焼を起こす 15ページ	変質灯油・不純灯油を使用した 12ページ	
	部屋の換気が不充分	換気を充分に行う。
	ファンフィルターにほこりがたまった	ファンフィルターの掃除をする。23ページ
においが強い	灯油がなくなった	給油する。13ページ
	変質灯油・不純灯油を使用した 12ページ	油受皿やタンク内の灯油を抜き、きれいな灯油で洗う。24ページ
	灯油がこぼれたり、漏れている	使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。29ページ
油が漏れている	カートリッジタンクを入れたまま移動した	
	不純灯油を使用した 12ページ	

処置を行っても直らないとき、上記以外のエラー表示がでたとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。 29ページ
故障したまま使用しつづけると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

アフターサービス

アフターサービスの依頼

点検・修理が必要になった場合は、お買い上げの販売店、または弊社営業所にご相談ください。裏表紙

アフターサービスを受ける際は、次の事項をご連絡ください。

品　　　名：ダイニチブルーヒーター
型式の呼び：30ページ 仕様 に記載
お買い上げ日：保証書に記載
症　　　状：エラー表示など、できるだけ詳しく

お守りください

修理などでファンヒーターを移動する場合は、必ず油受皿内の灯油を抜いてください。灯油がこぼれると火災の原因になります。25ページ

保証について

保証書

販売店で必要事項を記入してお渡ししますので、記入内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は3年間です。修理の際は保証書をご提示ください。なお、保証期間中でも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。12ページ

保証期間経過後は

販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理致します。

補修用性能部品について

○補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
○本ファンヒーターの補修用性能部品は、製造打切り後6年保有しています。
この期間は経済産業省の指導によるものです。

部品交換について

部品交換が必要な際は、お買い上げの販売店、または(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)、または技術講習会修了者(点検整備士)のいる販売店などにご依頼ください。

お守りください

ファンヒーターの修理・部品交換は、お客様個人では絶対に行わないでください。
けがややけどのおそれがあります。

廃棄するときは

ファンヒーターを廃棄するときは、必ずカートリッジタンク、油受皿内の灯油を抜き取ってください。25ページ
灯油が入ったまま廃棄すると危険です。

定期点検のおすすめ

2シーズンに1回の定期点検をおすすめします。
長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。
点検を受けないと、予想しない事故が発生するおそれがあります。
未然に事故を防止するため、シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げの販売店、または修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928)〕で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。(有料)

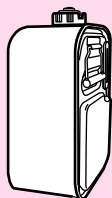
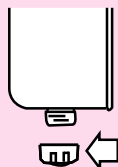
愛情点検　長年ご使用のファンヒーターの点検を！

こんな症状はありませんか	・油漏れする ・強いにおいがする ・運転中、異常な音がする ・その他の異常や故障がある	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

仕　様

型式の呼び		FB-4360LD	FB-5360LD
種類		気化式・強制通気形・強制対流形	
点火方式		連続放電点火	
使用燃料		灯油(JIS 1号灯油)	
燃料消費量	最大	0.449L/h	0.553L/h
	最小	0.089L/h	0.130L/h
暖房出力	最大	4.30kW(3,700kcal/h)	5.30kW(4,560kcal/h)
	最小	0.85kW(　730kcal/h)	1.25kW(1,080kcal/h)
騒音(正面)	大火力	38dB	39dB
	小火力	24dB	25dB
油タンク容量		9.0L	
燃焼継続時間	大火力	20.1時間	16.3時間
	小火力	101.5時間	69.2時間
標準適室	木造	18.5m²(11畳)まで	23.0m²(14畳)まで
	コンクリート	25.0m²(15畳)まで	31.5m²(19畳)まで
外形寸法 高さ×幅×奥行	置台込	455mm×527mm×357mm	
	本体	484mm×310mm	
質量		約14.5kg	
電源電圧及び周波数		100V　50/60Hz	
定格消費電力	最大消費電力	390/390W(点火初期に短時間発生)	420/420W(点火初期に短時間発生)
	燃焼時	153/153W(大火力時)	199/199W(大火力時)
	消費電力	74/　74W(大火力時)	86/　86W(小火力時)
安全装置		不完全燃焼防止装置、停電安全装置、燃焼制御装置 対震自動消火装置、過熱防止装置、消し忘れ消火装置	
その他の装置		室温異常高温防止装置	

部品のご注文について

次の補修用性能部品を破損したり紛失したとき、別売部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。
その際は型式名、部品名をはっきりとお伝えください。

〒950-1295 新潟県白根市大字北田中780-6
ホームページ　http://www.dainichi-net.co.jp/

営業所	郵便番号	住所	電話
東京営業所	〒101-0021	千代田区外神田2-13-7 ダイニチ神田ビル	☎03(3258)3841㈹
大阪営業所	〒564-0044	大阪府吹田市南金田2-6-6	☎06(6330)1431㈹
仙台営業所	〒984-8651	仙台市若林区卸町3-1-15	☎022(235)8621㈹
新潟営業所	〒950-1295	新潟県白根市大字北田中780-6	☎025(362)1140㈹
高崎営業所	〒370-0043	群馬県高崎市高関町345	☎027(328)0501㈹
宇都宮営業所	〒320-0838	宇都宮市吉野2-1-12	☎028(636)9411㈹
名古屋営業所	〒461-0028	名古屋市東区東大曽根町本通7-789-1 第一生命ビル	☎052(721)6677㈹
広島営業所	〒731-0137	広島市安佐南区山本1-4-25	☎082(875)8851㈹
福岡営業所	〒812-0014	福岡市博多区比恵町16-24 第六よしみビル	☎092(474)0731㈹

修理に関するお問い合わせは(30ページに記載の型式の呼びをご確認のうえ)
アフターサービスご相談窓口へ　　フリーダイヤル☎0120-468-110
FAX0120-468-220

こんなことでお困りのとき

- 使用方法がよくわからない
- お手入れ方法がよくわからない
- 異常時の対処方法がわからない
- ご転居等で近くに修理してくれるお店がない

受付時間　9:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日は除く）